

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公表番号】特表2005-535906(P2005-535906A)
 【公表日】平成17年11月24日(2005.11.24)
 【年通号数】公開・登録公報2005-046
 【出願番号】特願2004-531823(P2004-531823)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 27/327 (2006.01)

G 0 1 N 27/416 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/30 3 5 1

G 0 1 N 27/46 3 3 6 M

G 0 1 N 27/46 3 4 1 M

G 0 1 N 27/30 3 5 5

G 0 1 N 27/30 3 5 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月14日(2006.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電気的測定機器(1)、電極(2)、コネクシンまたはイネキシン(4)を含有する膜(3)、および同様にコネクシンまたはイネキシン(6)を含有する膜体(5)を含有し、膜体上の電気信号を測定するための測定器具であって、膜体から離れて対向する膜側から膜体の内部までの電気的導通アクセス(conducting access)が、ギャップジャンクションチャンネル(7)によって作られていることを特徴とする測定器具。

【請求項2】

膜が支持二重層として構成される請求項1に記載の測定器具。

【請求項3】

前記膜が脂質適合ポリマー中間膜を備えたシリカゲル基板上の支持二重層、すなわち、「束縛二重層」として構成される請求項2に記載の測定器具。

【請求項4】

物質の検出用のバイオセンサーとしての請求項1に記載の測定器具の使用。

【請求項5】

膜が生きている細胞の形態であることを特徴とする請求項1に記載の測定器具。

【請求項6】

生体の膜体上で電気信号を測定する方法であって、請求項1に記載の測定器具を用いることを特徴とする方法。

【請求項7】

測定される電気信号が、

(i) 膜体の膜電位；

(ii) 膜全体に流れる電流；および/または

(iii) 膜の電気容量

である請求項6に記載の方法。